

# 専大スポーツ

No. 294

大会結果、予定は体育会ホームページ(専大ホームページ「スポーツ」からログイン)でご確認ください  
専大スポーツweb (http://sensupo.web.fc2.com/) でも大会結果を配信しています

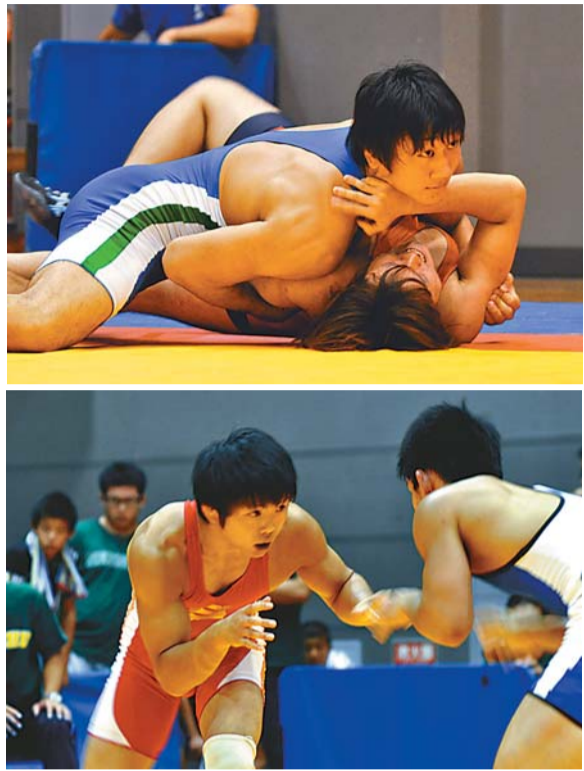
## レスリング・全日本学生選手権

# 専大 2階級制覇

## 鈴木(84kg級)、半田(55kg級)

### 鈴木は最短フオール賞も

全日本学生レスリング選手権(以下、インカレ)が8月26日から29日まで、大阪府堺市・金岡公園体育館で行われ、専大が2階級制覇を成し遂げ賞も獲得した。



▲ 優勝した鈴木(上)と半田

鈴木は最短フオールで相手も強烈的なタックルで相手

介(商3・星城高)、同55kg級で荻原健汰(経営2・沼津北高)がともに3位。また、グレコでは55kg級で大用真郷(経済3・関宿高)が、同84kg級で岩間奨平(商4・鳥取中央育英高)がともに3位に入賞した。(土屋 杏有美・文2 写真も)

### テニス・全日本学生選手権へ女子ダブルス

## 重藤・難波組ベスト4

全日本学生テニス選手権が8月27日から9月5日まで、東京・有明テニスの森公園で行われ、女子ダブルスで重藤真知子(文3・筑陽学園高)・難波沙樹子(文2・新宿山吹高)組がベスト4入りを果たした。

重藤は「負けたことは悔しいが、これが今の実力。これから始まるリーグ戦では全力を尽くし、チームに貢献したい」と話し、難波は「自分たちにもチャンスはあった。調子が良くない中、ここ



▲ 全日本学生でベスト4入りした重藤(左)・難波ペア(撮影=菅原)

### 水 泳・日本学生選手権

## 岩永が自己ベスト更新

### 女子自由形2種目で4位

日本学生選手権水泳競技大会が9月3日から5日まで、東京辰巳国際水泳場で行われ、学生日本一の座を争った。女子400m自由形、同800mに出場した岩永美里(経営2・八王子高)が両種目で決勝に進出。400mは自己ベストの4分14秒55で、800mは8分44秒66でともに4位となった。



▲ 女子800m自由形で力泳する岩永(関東学生)

岩永は「優勝を目指していた。これまでも、あと二歩のポイントを奪った。長い2分間が終わると、大きなガッツポーズを見せた。最後のインカレだったので、悔いを残さずなかつた。ひるんでしまう場面でも前に出てプレイングすることができた」と顔をほころばせた。

半田は決勝戦、最終ピリオドで疲れが見え始めた相手のバックをとり、貴重な1点を加算、勝利した。「今回は強豪が早々に敗退したので、来年のインカレが本当の勝負。淡白なレスリングをしてしまったので、改善していきたい」と話した。フリー66kg級で間瀬隼

女子200m個人メドレーで6位、同400mで7位と、表彰台は逃したものの、ルーキーながら健闘した。決勝に残るには、今よりも良い成績を出せるように頑張りたい」と話す、高久の泳ぎにも注目したい。

ちとにも、今よりも良い成績を出せるように頑張りたい」と話す、高久の泳ぎにも注目したい。

女子200m個人メドレーでは、小倉隆幸(経済4・八王子高)が50m自由形で優勝、同100mでも51秒84の大会新記録で優勝を果たした。

また、同400mで正治和希(経済2・富山商高)が、200m平泳ぎで前田幾巳(文3・静岡学園高)が、200mバタフライで鳥羽美那(法3・高崎商高)がそれぞれ優勝と、活躍が目立った。

(小澤 幸希乃・経営2 写真も) ※他の主な結果は11面「記録コーナー」参照。

### 関東学生選手権

## 女子1部でもハツラツ

### 岩永、高久が優勝 リレー2種目2位

関東学生選手権水泳競技大会が8月3日から5日まで、同会場で行われた。女子は昨年1部に復帰したばかりだが、力の差を感じさせない泳ぎでリード。800m自由形で岩永、400m個人メドレーで高久がともに優勝した。高久が200m個人メドレーでも2位となったほか、岩永、高野有紀(経済1・南平高)、高久、宮坂忍(文1・八王子高)組が40

2部に所属する男子で

男子・小倉が  
大会新で優勝

男子・小倉が  
大会新で優勝

男子・小倉が  
大会新で優勝

## ベスト8に終わる

全日本大学準硬式野球選手権が8月29日から9月4日まで、兵庫県あじさいスタジアムほかで進行した。専大は準々決勝で同志社大に敗れ、ベスト8に終わった。

初戦・下関市立大戦は、堂園昂平(法2・泉立野草商高)の先頭打者ホームランで先制。6回以降、打線が爆発し、8-2で圧勝した。続く金沢大戦は、2死二塁のチャンスに代打・折居貴喜(文4・専大北上)が左中間にタイムリーヒットを放ち、先制。投げては先発・小池友貴(商3・高知商高)が7回を4安打無失点に抑え、1-0で準々決勝へコマを進めた。同志社大戦は5回を終えて4点のビハ

同志社大戦は5回を終えて4点のビハ

同志社大戦は5回を終えて4点のビハ

## 準硬式野球・全日本大学選手権

和田基平(商4・二本松工高)、菊池純一(商3・安達高)、三浦翔太(商1・安達高)、細矢研人(経営1・寒河江高)が5位入賞。また、カヤックシングル(K1)で4×500mリレーで土屋陽(経営3・東郷高)・菊池・三浦・細矢組が6位と健闘した。

## 訂正

本紙第479号11面「アクアスポーツ特集」の漕艇の記事中、「漕艇部の創立は1946年」と誤記でした。正しくは「前身であるカヌー部が1936年に創立。戦後、ボート部門も加えた漕艇部として改称したのが1946年」でした。(森住 綾・文3)

## 漕艇・全日本学生カヌー選手権

和田基平(商4・二本松工高)が8月27日から9月1日まで、石川県の小松市木場潟カヌー競技場で行ったことが結果につながった。9月の日本選手権にも6人が出場するので、それに向けて頑張りたい」と語った。(森住 綾・文3)

## K・4 1000mで5位

和田基平(商4・二本松工高)が8月27日から9月1日まで、石川県の小松市木場潟カヌー競技場で行ったことが結果につながった。9月の日本選手権にも6人が出場するので、それに向けて頑張りたい」と語った。(森住 綾・文3)

同志社大戦は5回を終えて4点のビハ

同志社大戦は5回を終えて4点のビハ

同志社大戦は5回を終えて4点のビハ